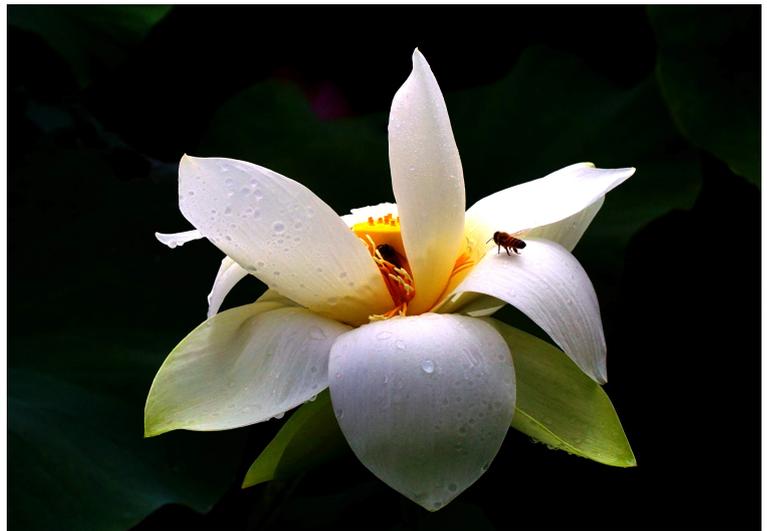


ミノルタ千代光会 会報 No.162

目次：No. 162

秋の行事のご案内	1
新工場見学会報告	1-2
理事会だより	2
事務局からお知らせ	2-3
物故者慰霊祭について	3
追悼の辞	4

「ハスに雫が付く」 実家近くのお寺に鉢植えのハスが毎年きれいに咲いています。住職が境内に30種・120鉢ほど植えたハスが白・ピンク色に彩っています。梅雨の時期に入ると雨上がりの水滴でハスの花がきれいです。訪れる人たちの目を楽しませてくれるハスの花です。「撮影：橋本武史」



コニカミノルタメカトロニクス株式会社
新工場見学会報告
 開催日：7月12日（金）14時～
 場 所：豊川市八幡町東赤土2
 （旧BM工場跡地）
 参加者：52名
 会報「事業所むかしいま」豊川地区編掲載の「コニカミノルタメカトロニクス（株）」本事業所の新工場見学会を7月12日（金）に実施しました。

会員の関心も高く3月の総会を上回る52名と多くの方の参加を得て行われ、社長より会社概要を説明頂いた後、見学に入りDMC（デジタルマニファクチャリングセンター）MIKAWAとして、国内のモノづくりで生産変革を創出し続ける「場」との位置づけで2021年5月より稼働されています。最新の自動化された生産ラインをポイントポイントでモニターを使った担当者の説明があり、大変分かりやすく見せていただきました。見学後の質疑では会員からKM後輩への思いや意見や質問があり有意義な見学会となりました。今回特に会社全体で入門受付から終了退出まで高齢者対応にご配慮を頂き感謝致しております。誠に有難うございました。（中部地区 事務局）

秋の行事のご案内

《 中部地区 》

秋の親睦行事は9月24日（火）～25日（水）に1泊バス旅行を計画しております。

行先：《身延山久遠寺と下部温泉&河口湖》

予定⇒（久遠寺参拝と信玄公隠し湯の下部温泉に宿泊&河口湖にて昼食）

8月お盆前に往復ハガキにてご案内する予定です。

（中部地区 事務局）

《 関東地区 》

秋の懇親会

日時 10月 3日（木）12時～

場所 品川プリンスホテル・メインタワー4F
中華料理 品川飯店

会費 4千円

（関東地区 事務局）

《 関西地区 》

なんばグランド花月観劇と食事会

11月14日（木）

「なんばグランド花月」で吉本新喜劇や漫才等で楽しんで頂き、その後、食事会（がんこなんば本店）を予定しております。

詳細は同封の案内をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

（関西地区 事務局）

おめでとうございます

田=中部地区会員
圃=関東地区会員
無印=関西地区会員

<古稀>

6月 田中 あつ子 島田 信彦
7月 財部 裕氏圃 児島 洋 根津 寛

<喜寿>

5月 安元 秀敏田
6月 荒舘 敏 田
7月 榎本 彰 田

<傘寿>

5月 牧 武 後藤 義弘田
6月 松井 俊夫田 永田 恵之田 古川 一三
7月 手島 巖田 平野 和臣田 出水 季武
西尾 吉信 奥平 任志田 堀江 義宏田

<米寿>

5月 鈴木 宏 圃 中野 良 田 渥美 仁美田
袋 勝治 小山 邦廣

<卒寿>

6月 中島 正晃

対象者：5月15日から7月30日生まれの方

お悔やみ申し上げます

川口 省吾	2016年12月
大屋 俊男	2023年3月14日
小島 幸典	2023年12月
重竹 博	2024年2月22日
中野 正文	2024年6月 5日
小田 勇	2024年6月17日

事務局からお知らせ

▼訂正▲ 会報161号第3頁「2023年総会 中部地区報告」中の代表写真に誤りがありました。お詫びして、下記のとおり訂正いたします。



【KMメカトロニクス(株)見学を終えて】
この度、工場見学会を企画された千代光会事務局、及び受け入れていただきました会社社に御礼申し上げます。
個人的には、KM退社後12年経過しますが、旧豊橋精密(株)のOBとして工場見学させて頂きました。
工場が大きく変貌し、新しいDMCの位置づけの中、生産DXを構築する拠点として、生産変革をしながら若い力が活躍していることに感動を覚えました。
日本回帰の中で、中国生産を凌駕することを目指して、KMのモノづくり領域で尽力されていること頼もしく思います。

一頁の新工場見学会報告に関し、参加者からの感想を頂きました。



理事会だより

5月理事会

- ◇カレンダー送付作業の外注化について
- ◇高野山慰霊祭の遺族対応について
- ◇関西地区議題
 - ・秋の行事について
 - ・総会の場所について

6月理事会

- ◇高野山慰霊祭の日程について
- ◇関西地区議案
 - ・秋の行事について
 - ・総会について

7月理事会

- ◇高野山慰霊祭について
- ◇今季予算の追加計上について
 - 本部プリンターの故障により買替が必要となったため
- ◇関西地区議案
 - ・秋の行事について

2024年度 物故者慰霊祭について

（最終合祀される方については
9月上旬に確定いたします。）



今年度の慰霊祭を10月7日（月）12時より、高野山大霊園ミノルタ慰霊塔で執り行います。会員の皆さまのご参列をお願いいたします。

参列希望の方は、別紙「高野山物故者慰霊祭のご案内」を参考に、はがきまたはメールにてお申込みください。

☆ 会員の皆さん

高野山へお詣りの節は南院にもお立ち寄り下さい。ミノルタ千代光会からのお詣りとお伝えいただければ過去帳、厨子も拝観できます。

※南院へは、高野山駅よりバスに乗車、「波切不動前」で下車。

※ミノルタ慰霊塔のある霊園へは、「奥の院前」で下車。



事務局からお知らせ

新入会員のお知らせ*（所属地区）

今回は該当の方なし

【会員状況】

7月16日現在

関西地区〔477名〕

中部地区〔198名〕 合計〔732名〕

関東地区〔57名〕

この一年に逝去された方々 （死亡が確認された方々を含む） （享年・住い・死去された日）

川口 省吾	2016年12月
森田 忠男	2022年 4月上旬
山田 哲郎	2022年10月 3日
細川 照夫	2023年 2月 1日
牧山 広幸	2023年 2月16日
大屋 俊男	2023年 3月14日
白井 稔	2023年 4月16日
保富 英雄	2023年 6月21日
長井 宏爾	2023年 7月 9日
大西 友一	2023年 8月18日
松本 昌信	2023年 8月19日
谷口 碩彦	2023年11月 2日
森久 信雄	2023年11月13日
岡村 正明	2023年12月16日
小島 幸典	2023年12月
結束 一男	2024年 2月 9日
重竹 博	2024年 2月22日
吉田 公秀	2024年 2月25日
奥平 任志	2024年 3月 9日
新井 康友	2024年 3月20日
木村 淳	2024年 3月30日
吉村 信雄	2024年 4月 3日
山田 重夫	2024年 4月 7日
中野 正文	2024年 6月 5日
小田 勇	2024年 6月17日

追悼の辞



木村 淳さん

3月30日死去

木村さんが他界されたご遺族より突然お電話で連絡がありました。年々足が衰え外出もままならないと、昨年電話で話をした程度で、一度お会いできることを楽しみにしておりましたが、かなわぬこととなり残念でたまりません。

木村さんはミノルタの久宝寺時代そして堺工場ではレンズの組立て現場で、狭山工場に移られてからは工場の総務部門の責任者としての業務に従事してこられました。工場内の事はもちろん、官公庁や地元の交渉等そつなくやってしまう人で、私はこの狭山工場での業務で一緒に仕事をし、退職されてからは年に1〜2回、小生の撮影を兼ねての旅行に共に出かけられました。食べること飲むことも好きで、行く先々でその地元の美味しいものを探し、各地の味を楽しんだことを懐かしく思い出します。

また退職後10余年に亘ってミノルタ千代光会の理事・事務局として、長く運営に携わりご尽力いただきました。

あの明るい笑顔と穏やかなたたずまいを心にとどめ、心からご冥福をお祈り申し上げます。

合掌 (寺内 伸也)

吉村 信雄さん

4月3日死去

吉村さんと初めて会ったのは1973年、私が入社3年目堺工場総務課へ転勤した頃です。10歳の先輩でしたが同期入社のような気安さでお付き合いが始まり、当初は仕事帰りの一杯や麻雀のお付き合いも多かったと記憶しています。

大阪万博の後、高度経済成長の波に乗り会社も発展拡大していた時期であり、遠隔地からの大量採用や春闘華やかなりし時代の労使関係等、人事労務の第一線で大いに活躍されました。私が狭山工場総務課へ異動となつてからも連携を取りながら仕事をしていましたが、今となつては笑い話のようなエピソードがいくつも思い出されます。

吉村さんはその後、技術センター、本社と転勤されながらも人事労務分野のエキスパートとして長年会社を支えて来られ、なかなかのアイデアマンで仕事でも様々新企画にチャレンジしておられました。後年会社状況が厳しい時期に重責を担い、ご苦労も多かったはずで、

仕事を離れると酒好き、遊び好き、いたずら好き、オーディオ好き、ピアノが弾けて歌が上手、そしてとても世話好き。吉村さんの紹介で出来たカップルも少なくないと聞いています。本当に世代を越えて広く周囲を楽しませてくれる人でした。

私にとって特に思い出が多いのは、私が奈良に住むようになってから、度々二人で奈良の古寺や旧跡巡りをしたことです。唐招提寺、薬師寺、新薬師寺、東大寺、浄瑠璃寺、般若寺、正倉院展等々。吉村さんは仏教寺院の伽藍の配置

様式等に造詣が深くよく解説してくれました。印象深いのは若い頃から会津八一の「南京新唱」をこよなく愛し、よく奈良を探訪したと言つて古寺を訪ねては八一の和歌をそらんじておられたことです。

唐招提寺

おほてらの まろきはしらの つきかげを
つちにふみつつ ものをこそ おもへ

浄瑠璃寺

じやうるりの なをなつかしみ みゆきふる
はるのやまべを ひとりゆくなり

般若寺

ならざかの いしのほとけの おとがひに
こさめながるる はるはきにけり

また、松本清張の推理小説「火の路」のゾロアスター教伝来説を辿り、明日香の酒船石や猿石等を廻つたこともありました。

吉村さんを含めた昔の職場仲間とは定例的な飲み会を続けていましたが、コロナ禍で中断を余儀なくされ、ようやく再会できる状況になつても吉村さんは欠席が続き、心配していた矢先の訃報でした。3年程前から闘病を続けておられたとのことでした。

50年余に亘り戴いたご交誼の思い出が次々と甦り懐かしくも心寂しい限りです。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(松山 創)

